



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ
 コード番号 9707 URL <http://www.unimat-rc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 清彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 寺坂 淳 (TEL) 03-5413-8228
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	43,945	1.9	1,579	△42.9	1,181	△48.7	240	△79.8
2020年3月期第3四半期	43,112	4.3	2,768	△5.6	2,304	△8.9	1,192	△45.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 255百万円 (△79.5%) 2020年3月期第3四半期 1,249百万円 (△39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	28.00	—
2020年3月期第3四半期	138.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	58,906	16,645	28.3	1,936.05
2020年3月期	55,861	16,579	29.7	1,928.32

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 16,645百万円 2020年3月期 16,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正に関する詳細につきましては、2021年2月9日に公表しております「2021年3月期の期末配当予想の修正(無配)及び株主優待制度廃止に関するお知らせ」を参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,737	2.3	1,782	△42.0	1,261	△48.3	165	△35.1	19.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) ー 、除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,598,912株	2020年3月期	8,598,912株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,207株	2020年3月期	1,008株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,597,771株	2020年3月期3Q	8,598,048株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(四半期連結損益計算書関係)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 11
3. その他	P. 12
継続企業の前提に関する重要事象等	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

介護業界は高齢者の人口増加に伴い、要介護認定者数も増加の一途をたどる一方で、約800万人ともされる団塊の世代が75歳以上となる2025年においては、介護人材は37.7万人不足すると推計されています。政府は、深刻化する人手不足に対応するため、生産性向上や国内人材の確保のための取組みを行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野において、一定の専門性・技能を有する外国人材を受け入れる制度として、2019年4月に新たに創設した在留資格「特定技能」を施行しました。また、厚生労働省は、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる仕組み「地域包括ケアシステム」の構築を推進しております。

このような経営環境の下、当社は持続的な成長を続けていくため、当社の代表的なビジネスモデルである複合型介護施設の運営力と収益力の更なる強化を図るとともに、既存施設との連携をも視野に、自宅に居ながらにして施設並みのサポートを受けることができる、定期巡回・随時対応型訪問介護看護「そよ風定期巡回」の新規開発を進めると同時に、看取り介護に特化した在宅ホスピス事業「西上尾ホスピスカケアそよ風」や、バラエティー豊かな食事をご自宅にお届けする新しい食事宅配サービス「食のそよ風」など、「地域包括ケアシステム」の構築の実現へ注力しております。また、介護現場の業務負担の軽減を目的に、「ICT化」による業務の効率化にも力を入れております。介護記録システム「Care Karte®」は、お客様のバイタルや食事状況、日々の変化など、手書きで行ってきた作業をタブレットを使って一元的に入力することで業務の時間が大幅に削減されるとともに、将来的には、蓄積されたデータからサービスの質の向上はもちろん、独自サービスの開発等に活用していくことも考えております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、介護事業における入居系サービスの入居率の向上や、新規施設の売上、2020年1月に事業譲受したホテル事業の売上が寄与し、売上高は439億4千5百万円(前年同期比8億3千3百万円増)となりました。一方で、介護事業の新規施設の開設に伴う費用が増加したことに加え、新型コロナウイルス感染症が再び拡大基調になったことによる飲食事業及びホテル事業の減収による減益分を補うことができず、営業利益は15億7千9百万円(前年同期比11億8千8百万円減)、経常利益は11億8千1百万円(前年同期比11億2千3百万円減)となりました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言を受け、飲食事業の店舗及びホテル事業の施設における各施設の休業の実施や営業時間の短縮等により発生した人件費・地代家賃・減価償却費等を新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億4千万円(前年同期比9億5千1百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[介護事業]

介護事業におきましては、当第3四半期連結累計期間において、介護サービス拠点は319拠点となり、提供するサービス事業所は652事業所(2020年12月末現在)となりました。第2四半期連結累計期間から引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響により、デイサービスやショートステイ等の在宅系サービスの利用控えはあったものの、グループホームや有料老人ホーム等の入居系サービスの入居率が向上したことに加え、2020年5～6月にパナソニック エイジフリー株式会社から事業譲受した7拠点の売上が、2020年12月には非連結子会社の株式会社ケアサポートそよ風より事業譲受したグループホームの2拠点の売上が寄与したことにより、売上高は、内部売上高を含めて391億4千2百万円(前年同期比15億9千1百万円増)と堅調に推移した一方、新規施設の開設に伴う費用が増加し、営業利益は36億4千2百万円(前年同期比5億円減)となりました。

[飲食事業]

飲食事業をおこなう、連結子会社の株式会社ユニマツトキャラバンの当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、2020年3月期の第4四半期以降は総じて厳しい状況となりました。2020年9月以降、自粛要請の解除や「Go To Eatキャンペーン」の追い風もあり、徐々に業績も回復傾向ではありましたが、2020年12月に入り再び新型コロナウイルス感染症が拡大基調となり「Go To Eatキャンペーン」の取組みが停止された影響等から、売上高は、内部売上高を含めて42億5千6百万円(前年同期比12億6千8百万円減)、営業損失は、第2四半期連結累計期間までの減収による減益分を補うことができず1億3千7百万円(前年同期は7百万円の営業利益)となりました。

[ホテル事業]

2020年1月より当社にて運営を開始した「ホテルアラマンダ青山」等を含むホテル事業におきましては、東京オリンピック・パラリンピックの延期や新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、旅行や出張の自粛等によってホテルの稼働率が低下したことに加えて、東京都が「Go To Travelキャンペーン」の除外地域となったことから、見込んでいた宿泊需要が大幅に落ち込みました。2020年10月より「Go To Travelキャンペーン」に東京都も加わったことで徐々に回復するも、2020年12月に入り「Go To Travelキャンペーン」が一時中止となったことで宿泊のキャンセルが発生する等した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、内部売上高を含めて3億8千1百万円、営業損失は2億7千8百万円となりました。

なお、ホテル事業は、第1四半期連結会計期間より、量的な重要性が増したため、「その他」より独立区分し、報告セグメントとしております。

[その他の事業]

その他の事業におきましては、当社が運営する不動産賃貸事業、宅食事業（「食のそよ風」）、及び連結子会社が運営する有料職業紹介事業等が含まれております。当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、自宅で過ごす消費者に向けた宅食事業（「食のそよ風」）の需要が増加し堅調に推移しましたが、有料職業紹介事業の需要が減少したことにより、売上高は、内部売上高を含めて3億5千8百万円(前年同期比5千1百万円増)となりました。営業損失は2億8千4百万円(前年同期は4百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は589億6百万円となり、前連結会計年度末と比べ30億4千5百万円の増加となりました。

負債は、422億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ29億7千9百万円の増加となりました。

純資産は、166億4千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ6千6百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月13日の「2021年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,467,380	13,092,946
受取手形及び売掛金	7,529,674	8,217,438
商品及び製品	263,543	270,296
原材料及び貯蔵品	156,899	169,281
その他	2,560,379	2,461,144
貸倒引当金	△58,838	△56,888
流動資産合計	20,919,039	24,154,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,350,955	15,015,857
土地	4,900,458	4,904,424
リース資産(純額)	6,078,044	6,132,053
その他(純額)	1,533,788	1,629,366
有形固定資産合計	27,863,245	27,681,702
無形固定資産		
のれん	1,529,656	1,512,852
その他	706,125	695,787
無形固定資産合計	2,235,782	2,208,639
投資その他の資産		
差入保証金	607,616	566,352
敷金	2,353,850	2,481,889
その他	1,955,151	1,882,558
貸倒引当金	△73,235	△68,639
投資その他の資産合計	4,843,382	4,862,160
固定資産合計	34,942,409	34,752,503
資産合計	55,861,449	58,906,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,519,128	1,645,284
短期借入金	450,000	750,000
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	2,949,446	3,395,946
リース債務	206,661	230,790
未払法人税等	254,681	735,418
未払費用	3,442,223	4,156,494
賞与引当金	555,093	281,483
その他	1,383,238	1,933,989
流動負債合計	10,840,473	13,209,407
固定負債		
社債	1,120,000	1,040,000
長期借入金	15,105,687	15,836,379
リース債務	7,347,538	7,451,474
長期預り保証金	1,798,145	1,670,189
役員退職慰労引当金	48,791	51,645
偶発損失引当金	20,000	20,000
退職給付に係る負債	1,642,225	1,716,438
資産除去債務	730,902	730,180
その他	628,164	535,389
固定負債合計	28,441,454	29,051,697
負債合計	39,281,928	42,261,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,122,974	8,122,974
利益剰余金	8,366,376	8,417,994
自己株式	△1,588	△1,796
株主資本合計	16,587,763	16,639,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,345	30,855
繰延ヘッジ損益	△2,314	△1,795
退職給付に係る調整累計額	△36,273	△22,614
その他の包括利益累計額合計	△8,242	6,444
純資産合計	16,579,521	16,645,618
負債純資産合計	55,861,449	58,906,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	43,112,275	43,945,413
売上原価	33,720,309	35,478,161
売上総利益	9,391,966	8,467,251
販売費及び一般管理費	6,623,705	6,887,836
営業利益	2,768,260	1,579,415
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,238	10,819
受取手数料	16,961	10,941
貸倒引当金戻入額	2,335	7,101
受取保険金	50,341	35,586
補助金収入	11,948	57,483
その他	40,869	46,307
営業外収益合計	132,695	168,238
営業外費用		
支払利息	416,610	410,012
その他	179,525	156,356
営業外費用合計	596,135	566,369
経常利益	2,304,820	1,181,284
特別利益		
固定資産売却益	36	—
補助金収入	27,931	398,583
受取補償金	34,197	—
その他	1,147	3,086
特別利益合計	63,312	401,670
特別損失		
固定資産除却損	35,901	11,184
固定資産圧縮損	25,660	25,755
減損損失	—	90,162
新型コロナウイルス感染症による損失	—	429,173
その他	19,410	1,299
特別損失合計	80,972	557,575
税金等調整前四半期純利益	2,287,160	1,025,378
法人税、住民税及び事業税	207,420	737,766
法人税等調整額	887,298	46,839
法人税等合計	1,094,719	784,606
四半期純利益	1,192,441	240,772
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,192,441	240,772

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,192,441	240,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,800	510
繰延ヘッジ損益	1,336	518
退職給付に係る調整額	14,610	13,658
その他の包括利益合計	56,747	14,687
四半期包括利益	1,249,188	255,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,249,188	255,459
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月15日 取締役会	普通株式	189,158	22.0	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月15日 取締役会	普通株式	189,153	22.0	2020年3月31日	2020年6月15日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年4月7日に政府が発令した緊急事態宣言、その後の4月16日の緊急事態宣言の全国拡大により、当社グループの介護事業においては、在宅系サービスの利用の減少、飲食事業及びホテル事業においては、需要の減少に加え、臨時休業の実施や営業時間の短縮により、売上高の減少等の影響が発生しております。

新型コロナウイルス感染症の今後の拡大や収束時期等を合理的に予測することは困難なため、新型コロナウイルス感染症に関連する情報を踏まえて、2021年3月までの期間にわたり当該影響が継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断や減損損失の判定等の会計上の見積りを会計処理に反映しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は不確定要素が多く、上記の仮定と異なる情勢となった場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 補助金収入

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
新型コロナウイルス感染症緊急 包括支援事業補助金	一千円	197,534千円
雇用調整助成金(特例措置)(注)	—	173,733
介護施設開設準備金経費支援事業 補助金	27,931	27,316
計	27,931	398,583

(注) 上記の他に申請している雇用調整助成金の額は22,031千円であります

※2 新型コロナウイルス感染症による損失の内訳は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
介護慰労金	一千円	195,500千円
勤務調整に伴う休業手当	—	166,729
政府、自治体からの各種要請等に基 づく休業期間等に発生した固定費 (人件費・地代家賃・減価償却費 等)	—	66,943
計	—	429,173

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	介護事業	飲食事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	37,551,242	5,436,484	42,987,727	124,548	43,112,275	—	43,112,275
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	88,562	88,562	183,196	271,759	△271,759	—
計	37,551,242	5,525,047	43,076,290	307,745	43,384,035	△271,759	43,112,275
セグメント利益	4,142,482	7,129	4,149,611	4,428	4,154,040	△1,385,779	2,768,260

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、有料職業紹介事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,385,779千円は、セグメント間取引消去等8,348千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,394,127千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	飲食事業	ホテル事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	39,103,734	4,163,664	380,866	43,648,266	297,147	43,945,413	—	43,945,413
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	38,806	92,394	204	131,406	61,712	193,118	△193,118	—
計	39,142,541	4,256,059	381,071	43,779,672	358,859	44,138,532	△193,118	43,945,413
セグメント利益 又は損失 (△)	3,642,101	△137,512	△278,135	3,226,454	△284,841	2,941,612	△1,362,197	1,579,415

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、有料職業紹介事業、宅食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,362,197千円は、セグメント間取引消去等16,410千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,378,607千円であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う業績悪化を背景として、事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、将来キャッシュ・フローが帳簿価額を下回った事業用資産について、当第3四半期連結累計期間において減損損失90,162千円を特別損失として計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含めていた「ホテル事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当該変更に伴う前第3四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

(株式会社ユニマツトライフによる当社株式に対する公開買付けについて)

当社は、2021年2月9日開催の取締役会において、株式会社ユニマツトライフ(以下「公開買付者」といいます。)による当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。

なお、上記取締役会の決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続により当社の株主を公開買付者及び高橋洋二氏(以下「不応募予定株主」といいます。)のみとすることを企図していること並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提としております。

詳細につきましては、2021年2月9日公表いたしました「株式会社ユニマツトライフによる当社株式に対する公開買付けに係る賛同及び応募推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 公開買付者の概要

(1)	名称	株式会社ユニマツトライフ	
(2)	所在地	東京都港区南青山二丁目12番14号 ユニマツト青山ビル	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役会長 高橋 洋二 代表取締役社長 菅田 貴人	
(4)	事業内容	コーヒー・紅茶・清涼飲料水・食品・日用品・雑貨の販売等	
(5)	資本金	100,000,000円	
(6)	設立年月日	1973年10月24日	
(7)	大株主及び持株比率	株式会社ユニマツトホールディング	100.00%
(8)	当社と公開買付者の関係		
	資本関係	公開買付者は、本日現在、当社株式1,553,420株（所有割合18.07%）を所有しており、当社のその他の関係会社に該当しております。 なお、公開買付者の完全親会社である株式会社ユニマツトホールディング（以下「ユニマツトホールディング」といいます。）は、本日現在、当社株式9,400株（所有割合0.11%）を所有しております。また、公開買付者の代表取締役であり、ユニマツトホールディングの代表取締役かつ大株主である不応募予定株主は、本日現在、当社株式2,706,912株（所有割合31.48%）を所有しております。	
	人的関係	当社の取締役である不応募予定株主は公開買付者の代表取締役を、当社の取締役である山内森夫氏は公開買付者の取締役をそれぞれ兼務しております。 なお、当社の取締役である不応募予定株主及び当社の取締役（監査等委員）である芦田幸一氏はユニマツトホールディングの代表取締役を、当社の取締役である山内森夫氏はユニマツトホールディングの取締役をそれぞれ兼務しております。 その他、当社の執行役員1名が公開買付者及びユニマツトホールディングの取締役を兼務しており、ユニマツトホールディングの従業員1名が当社に出向しております。	
	取引関係	当社は、公開買付者との間で資本業務提携をおこなっております。また、当社は公開買付者との間で、①消耗品・修繕・レンタル料・清掃委託料等の支払い、②自動販売機設置手数料の受取りに関する取引をおこなっております。 なお、当社はユニマツトホールディングとの間で、①購読料等の支払い、②経営指導料の支払い、③商標使用料の支払い、④業務委託料の受取りに関する取引をおこなっております。	
	関連当事者への該当状況	公開買付者は当社のその他の関係会社であり、関連当事者に該当しております。 なお、ユニマツトホールディングは当社のその他の関係会社の親会社であり、関連当事者に該当しております。	

2. 本公開買付けの概要

(1) 買付け等の期間

2021年2月10日（水曜日）から2021年3月25日（木曜日）まで（30営業日）

(2) 買付け等の価格

普通株式1株につき、金 1,400円

(3) 公開買付け予定株式数

買付予定数 4,337,373株

買付予定数の下限 1,471,500株

買付予定数の上限 ー 株

(4) 公開買付公告日

2021年2月9日（火曜日）

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。